

Claude Design 完全ガイド

AIで誰でもプロ品質のビジュアルが作れる時代へ

Claude Designとは？

Claude Designは、Anthropic（Claudeの開発会社）が2026年4月に公開したAIビジュアル制作ツールです。

テキストで指示するだけで、プレゼン資料・プロトタイプ・ランディングページ・マーケティング素材などを生成できます。デザインの専門知識がなくても、アイデアを素早くビジュアルに落とし込めるのが最大の特徴です。

対象プラン： Claude Pro / Max / Team / Enterprise（無料プランは対象外）
ステータス： リサーチプレビュー（現在も機能が進化中）

4つのモードの違い

Claude Designを開くと、最初に4つのモードから選ぶ画面が表示されます。

1. Prototype（プロトタイプ）

→ アプリやWebサービスの「動く画面」を作りたいときに使う

モバイルアプリやWebサービスのUIモックアップを作成するモードです。ボタンを押したら次の画面に遷移するなど、インタラクティブな動きも再現できます。

コードを書かずに「ユーザーに実際に触ってもらえるデモ」が作れるため、アイデアの検証やユーザーテストに向いています。完成後はClaude Codeに引き継いで、そのまま実装に移すことも可能です。

こんな人におすすめ：

- 新しいアプリのアイデアを素早く形にしたい起業家
 - 開発者に依頼する前に画面イメージを共有したいディレクター
 - ユーザーテスト用のデモを手軽に用意したい担当者
-

2. Slide deck（スライドデッキ）

→ プレゼン資料・提案書・ピッチデッキを作りたいときに使う

会話形式でプレゼンテーション資料を生成するモードです。内容を伝えると、構成を考えてスライドに仕上げてくれます。

PowerPoint（PPTX）やPDF形式でエクスポートできるので、そのまま発表や送付に使えます。

こんな人におすすめ：

- ・ 投資家向けのピッチデッキを作りたい起業家
 - ・ 社内提案書をスピーディーに仕上げたい担当者
 - ・ クライアントへの提案資料を短時間で作りたいフリーランサー
-

3. From template（テンプレートから）

→ 方向性は決まっているので、ゼロから考えずに始めたいときに使う

Anthropicが用意した既製テンプレートを土台として制作を開始するモードです。白紙から始めるより圧倒的に早く、方向性が決まっているときに最も効率的です。

テンプレートを選んだあとは、自分のブランドカラーや内容に合わせてカスタマイズしていきます。

こんな人におすすめ：

- ・ 初めてClaude Designを使う人（まずはここから試すのがおすすめ）
 - ・ 「こういう雰囲気で作りたい」というイメージはあるが言語化が難しい人
 - ・ とにかく素早く完成形に近いものを出したい人
-

4. Other（その他）

→ ランディングページ・チラシ・SNS素材など、何でも自由に作りたいときに使う

上記3つに分類されないビジュアル制作全般に対応するモードです。自由度が高く、さまざまな用途に使えます。

作れるものの例：

- ・ ランディングページ・集客ページ
 - ・ ワンペジャー（商品・サービスの紹介1枚もの）
 - ・ インフォグラフィック
 - ・ マーケティング素材・バナー
 - ・ イベント告知ページ
-

基本的な使い方の流れ

Step1：デザインシステムの設定（初回のみ）

初回利用時に、自分のブランドに合ったデザインシステムを登録します。以下の方法で既存のデザイ

ン情報を読み込ませることができます。

- GitHubなどのコードリポジトリを接続する
- 既存のデザインファイルをアップロードする
- 画像や文書ファイル（DOCX / PPTX / XLSX）を取り込む
- Webサイトのキャプチャツールで既存サイトの要素を取り込む

一度設定すると、以降のプロジェクトでカラー・フォント・コンポーネントが自動的に反映されます。複数のデザインシステムを使い分けることも可能です。

Step 2：プロンプトで指示する

テキストで「作りたいもの」を伝えます。

プロンプトのコツ：

1. 何を作るか（ランディングページ・スライドなど）
2. 誰のためか（ターゲット読者・顧客層）
3. 何が重要か（伝えたいメッセージ・こだわりのポイント）

この3つを盛り込むと、より意図に近いものが生成されます。

例：

「中小企業向けのSaaS紹介ランディングページを作って。シンプルで信頼感のあるデザイン、メインカラーはネイビー。CTAは無料トライアル申し込みボタン」

Step 3：洗練させる（Refinement）

生成されたデザインは4つの方法で微調整できます。

方法	内容
チャットで会話	「もっとシンプルに」「フォントを大きく」などと話しかける
インラインコメント	特定の要素を指定してコメントを入れる
直接テキスト編集	テキスト部分を手動で書き換える
調整スライダー	Claudeが自動生成するスライダーで余白・色・レイアウトをリアルタイム調整

Step 4：エクスポート・共有する

完成したら用途に合わせて出力形式を選びます。

形式	用途
PDF	送付・印刷用
PPTX	PowerPointで編集したい場合
HTML	Web上に公開したい場合
Canvaへエクスポート	チームで共同編集・追加修正したい場合
組織内URL	チームメンバーとの共有・レビュー
Claude Codeハンドオフ	開発者に実装を依頼する場合

アーティファクトとの違い

Claudeをすでに使っている方は「アーティファクト（Artifacts）」という機能をご存知かもしれません。Claude Designとの違いを整理しておきます。

比較項目	アーティファクト	Claude Design
使い方	チャットの中で自動生成される	専用UIで意図的に作成する
得意なこと	コード・文章・HTMLなど何でも	ビジュアル制作に特化
編集方法	プロンプトで再生成するのが基本	スライダー・インライン編集など専用UIあり
ブランド設定	なし	チームのカラー・フォントを記憶して使い回せる
エクスポート	コピー・ダウンロード程度	PDF / PPTX / Canva / Claude Codeへのハンドオフ
チーム共有	できない	組織内URLで共有可能
使用量	通常のチャット枠	別枠（週次制限が独立）

一言でまとめると：

- アーティファクト = チャットのついでにサッと作る「副産物」
- Claude Design = ビジュアル成果物を作ることが「目的」の専用ツール

活用シーン別おすすめモード早見表

やりたいこと	おすすめモード
アプリの画面を試作してデモしたい	Prototype
投資家・クライアントへの提案資料を作りたい	Slide deck
まず試しに使ってみたい	From template
集客ページ・告知チラシを作りたい	Other
SNS用のビジュアルを作りたい	Other
商品・サービスの紹介資料を1枚にまとめたい	Other

よくある質問

Q. 無料プランでも使えますか？

A. 使えません。Claude Pro（月額\$20）以上のプランが必要です。追加料金はなく、プランの使用量枠内で利用できます。

Q. 使用量はチャットと共有ですか？

A. いいえ、別枠です。チャット・Claude Code・Claude Designはそれぞれ独立した週次制限が設けられています。

Q. FigmaやCanvaの代わりになりますか？

A. 完全な代替ではなく「補完ツール」として設計されています。Anthropic公式も「Figma・Canvaは精緻化のツール、Claude Designはアイデアを素早くビジュアル化するスタート地点」と位置づけています。Claude Designで下書きを作り、Canvaで細部を仕上げる、というワークフローが効果的です。

Q. 日本語で使えますか？

A. 日本語のプロンプトに対応しています。ただしUIは英語表示です。

Q. まだ機能は安定していますか？

A. リサーチプレビュー段階のため、機能は頻繁にアップデートされています。重要なビジネス用途よりも、まずは試験的・探索的な使い方から始めるのがおすすめです。

最終更新：2026年4月18日

情報はリサーチプレビュー時点のものです。今後変更される可能性があります。